

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 1 日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県富士市鮫島2番地1

氏 名 旭化成株式会社 富士支社

支社長 野崎 貴司

電話番号 0545-62-2081

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成株式会社 富士支社 マイクロザ工場
事業場の所在地	静岡県富士市鮫島2番地1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業 化学工業
② 事業の規模	103,389百万円
③ 従業員数	40,689人（連結）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
産業廃棄物統括責任者	旭化成(株) 富士支社 支社長
産業廃棄物処理責任者	マイクロザ工場長 (処理計画統括責任者)
特別管理産業廃棄物管理責任者	工場環境安全課 (特管産廃管理責任者)
環境安全課	計画書作成部署
製造第一課、製造第二課	処理計画の実行

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	別紙2の通り
	排出量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリは排水処理設備の健全化を実施し順調に推移している。今年度においては活性汚泥設備の減容化にも取り組み産廃排出量の削減に貢献できるよう推進している。廃油類も同様で同一製品銘柄の継続的生産や、使用銘柄の見直しにより減量化・再利用を推進している。 PVDF(廃プラ)においても再利用を試験中で、品質安定確認中で今年度中の安定的な実生産と排出量削減に向けて取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	別紙2の通り
	排出量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みに対して粘り強く対応し、リサイクル推進を強化していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物は分類毎に分別を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再資源化できるものは、継続的に区別し、分別方法の見える化と再資源化を実施。今後も現状維持で継続していくとともに有価へのシフトも検討する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

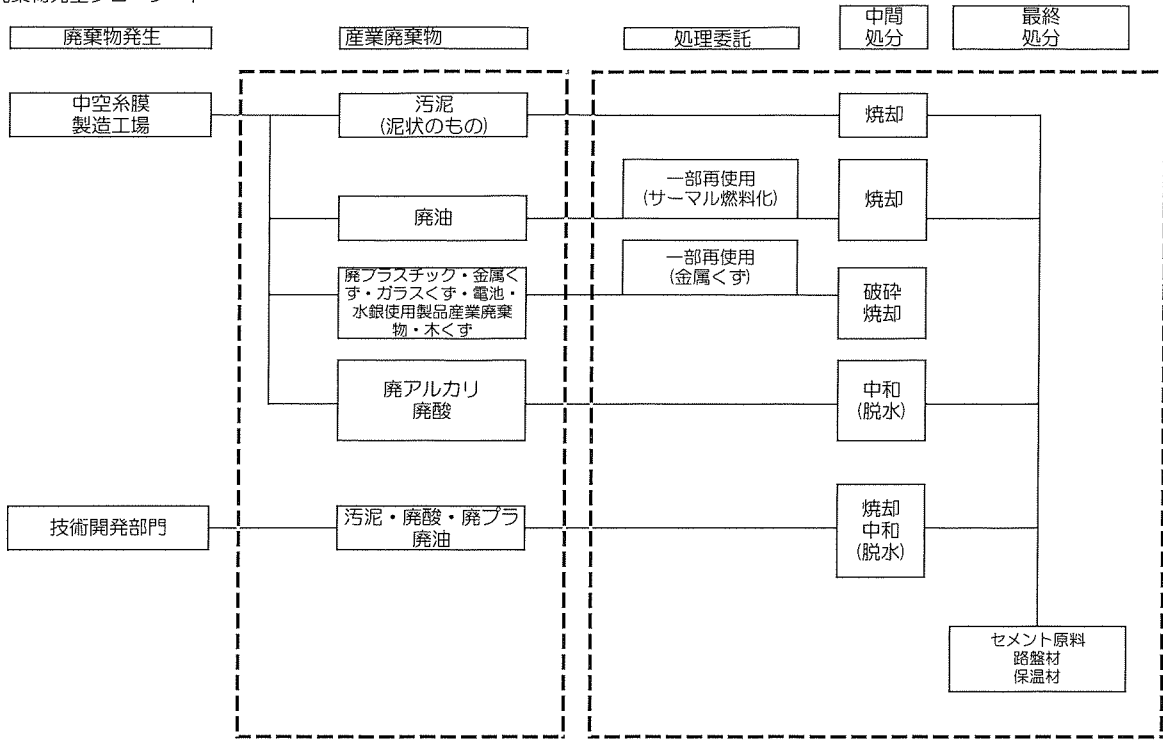
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	別紙2の通り
	全処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 廃油の処理については、処分先を追加し排出リスクを低減させ、優良認定企業への契約を前提に進めてきた。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	別紙2の通り
	全処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り t	別紙2の通り t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>廃アルカリにおいて減容化を進めており、設備の工程排水を希釈して下水に流していたもの活性汚泥処理設備で処理し河川放流とした。安定的な操業ができるよう今後も引き続き取り組んでいく。</p>		
※事務処理欄			

別紙1 産業廃棄物の一連の処理工程

産業廃棄物発生フローシート



	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の分別に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
	①現状 前年度(令和3年度)実績		②計画【目標】		①現状	②計画	①現状 前年度(令和3年度)実績					②計画【目標】						
	排出量	これまでに実施した取組	排出量	今後実施する予定の取組	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者の熱回収を行う業者への処理委託量	これまでに実施した取組	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者の熱回収を行う業者への処理委託量	今後実施する予定の取組
産業廃棄物の種類	排出量	これまでに実施した取組	排出量	今後実施する予定の取組	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者の熱回収を行う業者への処理委託量	これまでに実施した取組	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者の熱回収を行う業者への処理委託量	今後実施する予定の取組
汚泥(泥状のもの)	4.20	-	4.00		種類毎に分別	種類毎に分別	4.20	4.20	4.20	-	-	-	4.00	4.00	4.00	-	-	
ガラスくず	0.18	-	0.15		種類毎に分別	種類毎に分別	0.18	0.18	0.18	-	-	-	0.15	0.15	0.15	-	-	
木くず	8.5	-	8.0		種類毎に分別	種類毎に分別	8.5	8.5	8.5	-	-	-	8.0	8.0	8.0	-	-	
金属くず	24.6	-	24.0		種類毎に分別	種類毎に分別	24.6	24.6	24.6	-	-	-	24.0	24.00	24.0			部分有価化
水銀使用製品産業廃棄物	0.11	-	0.10		種類毎に分別	種類毎に分別	0.11	0.11	0.11	-	-	-	0.10	0.10	0.10			工場内照明LED化
廃電池類	0.010	-	0.010		種類毎に分別	種類毎に分別	0.010	0.010	0.010	-	-	-	0.010	0.010	0.010			充電式電池ヘジフト
廃油	238.8	減量化 燃料化	235.0	減量化	種類毎に分別	種類毎に分別	238.8	238.8	238.8	-	-	減量化	235.0	235.0	235.0	-	-	減量化
廃酸	4.4	減量化	4.0	減量化	種類毎に分別	種類毎に分別	4.4	4.4	4.4	-	-	-	4.0	4.0	4.0	-	-	-
廃プラスチック類	153.0	再使用 減量化	150.0	再使用 減量化	種類毎に分別	種類毎に分別	153.0	153.0	153.0	-	-	再使用 減量化	150.0	150.0	150.0	-	-	再使用 減量化
廃アルカリ	805.3	減量化	800.0	減溶化 (継続)	種類毎に分別	種類毎に分別	805.3	805.3	805.3	-	-	減溶化 (継続)	800.0	800.0	800.0	-	-	減溶化 (継続)
合計	1239.1		1225.3				1239.1	1239.1	1239.1	0.0	0.0		1225.3	1225.3	1225.3	0.0	0.0	